

キャンパス紹介 星薬科大学

星薬科大学（中嶋暉躬学長）は東京都品川区という大都会の一角にキャンパスを構える数少ない薬大。車の往来激しい幹線道路から、銀杏の並木道に誘われてキャンパスに入ると都会の喧噪が嘘のようだ。正面には「近代日本の名建築」に指定された本館の前で、創立者・星一氏の像が来訪者を迎える。郊外型の大型キャンパスには決して及ばないが、敷地内にはテニスコートやプール、650種ほどの有用植物が栽培される3000㎡の薬用植物園もあり、都会にありながら緑豊かなキャンパスを演出している。この薬用植物園、いまや都内屈指の規模となり、多くの見学者を受け入れ、社会貢献、地域とのつながりにも一役買っている。



右に本館、左奥には新館がある

都会の中に緑のオアシス

星薬大では2001年以降、決して広くはない敷地を効率活用すべく、また新たな薬学のうねりを捉え、施設整備を図ってきた。初めに、日当たりの良い中庭を連想させる開放感溢れる新館が竣工、さらに歴史ある本館も改修、04年には第2新館が竣工し薬学新時代への準備がほぼ整った。さらに今後数年で第2新館の2フロアに、最新の模擬薬局・薬剤部を展開させる。一方、将来的には“産学共同研究の砦”づくりを進める考えもあるという。

星薬大は1911（明治44）年に創立者・星一氏が星製薬株式会社の社内教育部門を設置したことに端を発する。唯一日本で製薬会社を設置母体を持つ薬科大学であった。星製薬は当時、モルヒネやキニーネなど植物成分から薬をつくり、世界に頒布していた実績を持つ。24年に星氏が制定した建学の精神「本学は世界に奉仕する人材育成の揺籃である」は、今日の教育方針に受け継がれ、真の国際人として広く世界に奉仕し、人のために役立つ薬剤師教育を目指している。

その伝統を踏まえ、来年度以降、6年制の「薬学科」を主体にしつつ「創薬科学科」を設置、創薬の研究・開発にも力を入れていく

こととしている。将来的には、医薬品化学研究所を充実し「産学共同研究の砦にしたい」と中嶋学長は語る。



中嶋学長

04年から学長に就任した中嶋氏は、直前までサントリー生物有機科学研究所所長および医薬事業部長という、いわば基礎研究開発部門と実務的な管理部門とを併任していたというユニークな前歴を持つ。「役に立たないことをせよ、と誘われて入ったのに、途中で半分は役立つことをせよといわれ、週の半分は京都で研究、半分は東京でという生活を10年続けた」と笑う。その間、アメリカで合弁会社や支社の立ち上げなど、企業経営の面でも確かな実績を残してきた。ご本人の言葉を借りれば「水と油を安定的に混ぜる、まさに薬学的な



都内有数の広さを持つ薬用植物園

郊外型薬大で入学希望者数に陰りが見られるとされるなか、星薬大は落ち込みが大きいようだ。「やはり学生さんは赤い灯、青い灯が好きですよ。夜な夜な…」とご本人も

“産学共同研究の砦”に 創薬の研究・開発にも力

仕事”をしてきたわけだ。

さて、薬剤師教育の面では既に学内に「薬学教育研究センター」を設置し、「薬剤師教育研究部門」に加え、今年度に入り実務実習等の円滑な推進を担当する「実務教育研究部門」を充実させた。中嶋氏は、臨床教員が現場から完全に離れてしまうことは問題だとして「一定期間は医療現場に戻って、新しい知見を取り入れていただくということを考えている」と、医療の将来を意識した薬剤師教育を進める方針だ。

“いける口”のご様子。そんな都心にある強み・利点を

生かして、社会人の生涯教育を今後とも充実させる考えだ。実は、夜間大学院を始めたのは星薬大が最初だという。ただ、一般的な状況も含め、生涯学習のスタンス、基軸の立て方を再整理する必要がある——と中嶋氏は指摘する。薬剤師教育と研究・開発、そして学生から社会人までと、まさに“開かれた学舎”として、今後も発展が期待される。



木洩れ日あふれる心地よい吹き抜け（新館）



痛み止めを飲む時の後ろめたさも、
痛みの一部でした。

カラダのことを考えると、本当は薬は飲みたくない。でも、痛みから
そうも言ってもらえない。みんな、そんな「ジレンマ」を抱えながら、痛み
と付き合っている。だからこそ、セデスキュアは効き目と一いっしょに
「やさしさ」も届けたいって思いました。たとえば飲みやすい小さな
錠剤も、そう。あなたがいつも笑っていられるように、セデスキュア
はいろんな「やさしさ」で新発売です。

小粒なシアワセ。セデスキュア

- イブプロフェン配合解熱鎮痛薬 ○痛みをしっかりやわらげる、鎮痛効果
- 飲みやすい小粒な錠剤（クローバーの刻印） ○包装：6錠・18錠・30錠

この医薬品の「使用上の注意」をよく読んでお使い下さい。特にアレルギー体質の方は服用前に医師や
薬剤師等にご相談下さい。
お問い合わせ先：シオノギ製薬医薬情報センター 大阪 06-6209-6948 東京 03-3406-8450
<http://www.shionogi.co.jp/s-cure/> シオノギ製薬

2005.12

信頼の技術を、
医薬品へ。



信頼の医療器・医薬品
NIPRO
ニプロ/ニプロファーマ/ニプロジェネファ

<http://www.nipro.co.jp/>